

青嵐



CONTENTS

特集

創立60周年 1

60年のあゆみ 60周年に寄せて

TOPICS

さらに充実した今年の学園祭特集 4
北九大にスポーツの祭典誕生 5

キャリアセンター「トップに訊け!」 6
仁川発展研究院と交流協定
学長記者会見、北九大格付A A
守るんジャー結成式 など

会議等 8

K²BS 9
(北九大ビジネススクール)

北方サロン・公開講座 10

こらむ | 北九州市立大学生協
学術情報総合センターSEルーム

入試広報 REPORT 11



大島学長像

大島学長胸像

大島学長は、北九大の前身、小倉外事専門学校長、北九州外国語大学長、及び北九州大学の初代学長を務められる一方で、倫理学の教鞭をとり、「北九州大学の父」と称されました。

「常に新しく 永遠に若く 不断に東西の文化を融合して 日本文化を創造し 以って 世界の文化に貢献せむ」

北九州外国語大学の第一回入学式における学長訓示は、「建学の精神」として語りつがれています。

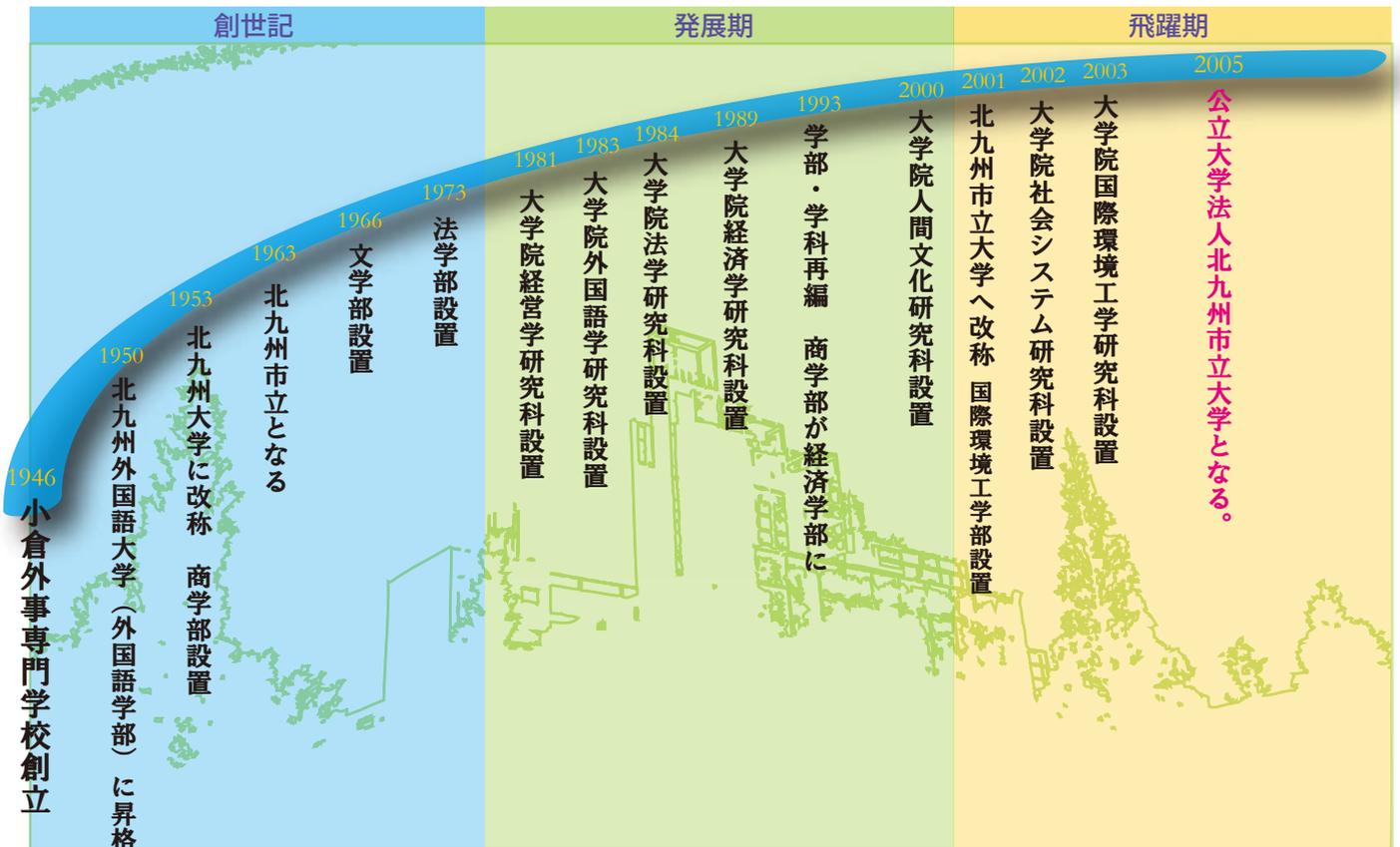
北九州市立大学60年のあゆみ

北九州市立大学の前身、小倉外事専門学校が創立されてから、今年で60周年を迎えました。この間、北九州外国語大学への昇格、北九州大学へ改称、文系の学部、大学院修士課程の拡充、ひびきのキャンパス及び理系学部の開設、大学院博士課程の設置など、つねに改革と発展に取り組み、現在では、文理合わせて5学部・7研究科、学生数約7,000人を擁する総合大学として、全国有数の公立大学になりました。

そして、2005年4月からは公立大学法人として、地域に根ざした、国際的にも競争力のある、個性的で魅力的な大学を目指し、新たな挑戦の一步を踏み出しました。



そして、未来へ





[創立60周年に寄せて]



理事長 阿南 惟正

六十年前、昭和二十一年、北九大の前身である小倉外事専門学校が開設されたのは、戦後の荒廃期にあつて、精神的より処を失つた青年たちに教育の場を提供し、今後の国際化へ対応する人材を育成するためでした。

仮校舎で教科書も十分な数を確保できないような厳しい状況の中で、教職員、学生が一体となり、開拓者精神をモットーに取組んできた結果、昭和二十五年、大学に昇格しました。

この草創期にあつて、初代学長大島直治先生（表紙写真）が果たされた役割は誠に大きいものがあります。その後、大学は発展を続け、現在は五学部七大学院を擁する公立大学に成長しました。

昨年からは、公立大学法人として新たな第一歩を踏み出しました。教育・研究・社会貢献という大学の使命を果たすべく、中期計画に沿つて大学改革に取り組み着実に成果をあげつつあります。

六十周年にあたり、北九州市立大学が伝統を受け継ぎつつ今後ますますの発展を遂げるよう、教職員、学生全ての皆さんの努力と奮起を期待する次第であります。



学長 矢田 俊文

本学の六十年の歴史は、大きく三つの時期に分けることができます。第一期は、一九四六年の小倉外事専門学校設立、五十年の新制大学の北九州外国語大学の発足、外国語学部、商学部、文学部、法学部と北方キャンパスに文系4学部が整い、わが国固有数の公立大学となる七十年代前半までの4半世紀が創生期です。第二期の七十年代後半から二十世紀一杯には、経営学、外国語、法学、経済学、人間文化の5つの研究科を設置し、大学院の修士課程教育の充実を図りました。「充実・発展期」です。

二十一世紀は第三期の「飛躍期」です。名称を北九州市立大学と変え、「ひびきの」に国際環境工学部を設置し、さらに国際環境工学研究科と社会システム研究科の二つの博士課程を開設しました。二〇〇五年には公立大学法人化し、新たに就任した理事長・学長のもとで、教養教育の充実、ビジネススクールの設置、学部・学科の再編、学生生活支援の強化など全国的にも注目する「教学改革」を進めています。学生、保護者、高校の先生、同窓生、企業、市民の皆様は評価される大学づくりに教職員一丸となつて取り組んでいます。



同窓会長 山下 建治

北九州市立大学創立六十周年、誠にありがとうございます。

昨年四月、北九州市立大学は地方独立行政法人となり、大学のあり方が大きく変わつて来りました。新しい経営陣の大学改革のスピードは私達が想像していた以上です。

現在、同窓会では、入学時にいただいている終身の会費は、現役学生に対しても、奨学金の支給、国際交流基金への拠出、サークル活動への支援や卒業時の激励会経費の助成等を行っています。

大学発展のため奮闘されている大学当局や学生諸君に対して、同窓会としてどのような対応をしていけばよいのか本格的に取り組みに入ります。

そのためには大学と密接な連携をとり、新経営陣の運営方針に沿つて協力していただければなりません。

北九州市立大学が特色をもつた魅力ある大学として発展していく事を願つて止みません。

創立60周年写真展「北九州市立大学 60年の路」開催中

- 北方キャンパス本館エントランス
- 平成18年12月28日（木）まで

パネル協力：大学祭実行委員会



[創立60周年に寄せて] 北九大に関わる皆さんからのメッセージ



大学と同一年

新村 昭雄 さん

今「いちご評価」が問題となっているが、北九大に来た時は「いちご白書」がまだ燻っていた。

東大紛争で全学が占拠され（赤門から生協は民青、正門から安田講堂は全共闘）、北九大でも山田弾薬庫問題（奇形蛙）があり、学生も熱気に溢れ、クラス文集やゼミの研究誌をガリ刷りの輪転機を使い、学生と一緒に手を真っ黒にして刷り、日本の未来はバラ色だった。が、自決した三島は「：無機的な、空っぽな、中間色の、富裕な、抜目が無い、経済大国が残る」と述べた。

精神の空っぽな学生が多くなったが、偶に目の輝く学生に会うとホッとする。

昭和四十六年入職 文学部教授

元文学部長



大学OG

石丸 美奈子 さん

「学生時代は、恋とバイトに明け暮れた。街全体が、キャンパスだった。それでも。」

北九大で学んだこと、過ごした時間は、いまも、わたしのコアである。母校に誇りを。郷土に愛を。後輩たちよ。

胸張って、進め。」

初めての出版。生協が本を置いてくれることになり。ついては、本人による宣伝ポップを。とのオファー。ま、本業（コピーライター）だしね。ところが。いざ書いてみると、本の宣伝はそっちのけ。母校と郷土への想いと、後輩への檄に、なりました。創立60周年おめでとう。これから、共に、胸張って進もう。

昭和五十七年外国語学部卒 コピーライター



大学OB

花房 昭一 さん

大学事務局勤務で五年もの長い間お世話になった。

振り返ってみると色んな仕事で頭に浮かぶ。平成十三年の校名変更や工学系学部の開設も苦労と喜びであったが、そのころから本校は果敢に大学改革に挑んできた。その集大成とも言えるのが、平成十七年の独立行政法人化である。

大学側でのコンセンサスづくりや制度設計の準備段階から携わったが、これまでの大学運営全ての枠組みを一変する制度導入に、当初、学内は戸惑った。大学の「自治」を振りかざしているばかりでは、残念ながら「変化」はあっても「変革」は成し遂げられなかったであろう。幾度となく議論を重ね、法人化という「外圧」を見事に活用し、次代を担える、新生の大学に変貌した。

昭和四十五年経済学部卒 元北九大事務局局長

現若松区長



現役学生

野村 徳一 さん

北九州市立大学は今年で創立六十周年になりますが、我が大学の大学祭「青嵐祭」もまた六十回目を迎えました。開学以来一度も途切れることなく開催され、時代と共に少しずつスタイルを変えながらも北九大生の活動成果の発表の場として人々を魅了し続けてきました。

今年六十回目という節目を迎えるにあたり、北九大や青嵐祭の歴史を少なからず勉強しました。過去の学生運動や様々な時代の荒波を乗り越え、北九大生は常に活発な活動を行ってきたことが分かりました。「学生のみが持ち合わせる若々しさ」、これを形として最も的確に表せる場が青嵐祭なのだと思います。

今年度の第六十回青嵐祭にお越しいただいた皆様、いかがだったでしょうか？様々な企画や模擬店などを楽しんでいただけでしょうか。青嵐祭は北九大の発展と共に続いていきます。六十一回、六十二回・・・と続いていく青嵐祭を今後ともよろしくお願ひします。

平成十六年入学 経済学部三年

第六十回大学祭実行委員長

さらに充実した今年の学園祭特集

第60回青嵐祭 轍（わだち） ～刻まれる路～ を開催

北方
キャン
パス

11/2
～
11/5

平成18年11月2日（木）～5日（日）に北九州市立大学北方キャンパスにて第60回青嵐祭が開催され、様々な催しが行われました。当日は天候にも恵まれ、いつもとは異なる学内の雰囲気を楽しもうと4日間で13,462の方が来学されました。

今年度大学祭実行委員会の学生は「青嵐祭」が60回目の節目を迎えるので、これまでの伝統を守りながら、新たなコンセプトを打ち出すよう、準備段階にて様々な可能性を模索しました。その一環として、東京大学・首都大学東京・中央大学・大阪府立大学・大阪市立大学などの各大学の大学祭を視察して回るなど精力的な準備活動を行いました。



(株)オリエンタルダイニングアンドリゾーツ代表取締役
尾崎友樹氏による講演



盛況だった模擬店

青嵐祭は学生の自主活動又は研究活動の成果を発信する場ですので、これらをもって地域社会への貢献をすることを目的としています。この目的に沿って、第60回青嵐祭では大学開学60周年を記念したパネル展示、尾崎友樹さんによる文化人講演や「ハリガネロック」によるお笑いライブ、各学生団体が趣向を凝らして出店した各種模擬店など、学生はもちろん多くの地域住民の方々に楽しんで頂き、より大学生らしい新しい感覚を地域社会へ向けて発信することができました。

今回の第60回青嵐祭は多くの「チャレンジ」を行った青嵐祭であったかと思えます。文化人講演の復活や模擬店の出店嗜好の変化は青嵐祭特有のアカデミックな雰囲気をより一層醸成し、また、ごみの分別収集やWWFへの募金活動を実施し、お化け屋敷や占いの館等の新たな企画を成功させるなど、第60回大学祭実行委員会の「Frontier spirit」は大きく評価されるものでした。今回の第60回青嵐祭の成功は次年度以降の新たな方向性を創造し、我々にその実現を大いに期待させるものとなりました。



開学60周年記念パネル

ひびきの
キャン
パス

11/11
～
11/12

ひびきのキャンパスでは、今年で4回目となる大学祭が11月11日（土）と12日（日）の2日間に亘って開催されました。

まず「ひびきの大学祭」の特色ですが、国際環境工学部が位置する北九州学術研究都市（以下「学研都市」と記す。）全体のイベントである「ひびきの祭」との同時開催で、双方の多彩な催し物が楽しめること、また本学部及び学研都市が地域に開かれた環境であることから、通常の大学祭とは異なり、子供達や家族連れの参加が多いこと等があげられます。

今年の「ひびきの祭」では、考古学者の吉村作治氏の講演会や、恒例となった子供向けの科学マジックショー、工作教室等が開催され、一方の「ひびきの大学祭」では、学生主催のステージイベントや模擬店はもちろん、本学部各学科の教員による実験を中心とした特別講義等、工学部ならではの催しが行われました。

あいにく初日は激しい風雨に見舞われ、午後の早い時間に模擬店が閉店になるなど、残念な結果となりましたが、2日目は、初日の天気が嘘のようなすばらしい秋晴れとなり、たくさんの方々に「ひびきの祭」、そして「ひびきの大学祭」を楽しんでいただくことができました。



祇園太鼓サークルの演奏



情報メディア工学科 ゴドレール・イヴァン教授の
ロボット操作体験

北九大にスポーツの祭典誕生！

第1回スポーツフェスタ2006 開催

10/28・29

平成18年10月28日(土)～29日(日)〔一部競技は10月24日(火)～28日(土)〕に北方キャンパスにて、第1回スポーツフェスタ2006が開催されました。

スポーツフェスタとは、毎年10月下旬に各体育会サークルが実施していたスポーツレクレーションを一つにまとめたもので、学生同士及び学生と教職員の交流、自主活動の活性化、健康促進に寄与することを目的とした、北九州市立大学の学生と教職員のための大学行事です。



バスケットボール

いては、申込数が予定限度数を超えたため、抽選を行ないました。

球技については、いずれの競技も決勝トーナメント以上になると、レベルが高く好ゲームが続きました。また、教員を含むゼミ単位で参加したチームも多数ありました。体育祭については、主に体育会系サークルが中心となり参加していましたが、障害物競走や綱引き・リレー等の定番のものから、しっぽとりや仮装行列等、ユーモアあふれる競技もありました。

開催にあたり、従前よりスポーツ大会が盛んな筑波大学へ視察に行きました。それを参考とし、スポーツフェスタ実行委員会を立ち上げました。企画立案から広報・準備・運営まで全てが一からのスタートで、3ヶ月と短い準備期間の中で精力的に準備・開催しました。

大会の競技種目は、ソフトボール・バレーボール・バスケットボール・体育祭の4競技が開催されました。参加人数は、ソフトボール(16チーム・199人)、バレーボール(16チーム・186人)、バスケットボール(12チーム・94人)、体育祭(164人)の計643人でした。球技につ



体育祭



表彰式：各賞表彰

開催初年度ということで、運営に課題もありましたが、参加者は楽しく交流することができ、次年度以降にも継続して行なえるような素晴らしい大会となりました。

<上位入賞者>

	優勝	2位	3位	MVP
ソフトボール	ルーキーズ	クラブ しゃーなし	北九 ラクロス部	堂免秀平 (ルーキーズ)
バレーボール	ふぁぶりーず	金曜日の クマたちへ	長州徳力	横田高広 (ふぁぶりーず)
バスケットボール	Ynhoo!	踊る肉団子の 甘酢かけ	ザ・不感症	大庭慶祐 (Ynhoo!)

<チーム名グランプリ>

「ムチムチむちうち団」(バレーボール)



バレーボール



開会式：スポーツフェスタ連絡協議会長(学長)挨拶



ソフトボール



TOPICS

キャリアセンター「トップに訊け！」オープン 11/10



キャリアセンター主催の現役社会人リレー講座「トップに訊け！」第1回目として、株式会社スターフライヤー堀高明社長の講演が11月10日（金）、A-101教室で行われ学生約100名が聴講しました。

「スターフライヤーの挑戦」と題されたこの講演は、堀社長ご自身の経験談からスターフライヤー設立に関する話、社会人としてのスキルアップ法などに及び、これから社会に出て行く学生にとって非常に興味深い内容となり、熱心に耳を傾けていました。

この現役社会人リレー講座「トップに訊け！」は、学生の職業観涵養を目的としてキャリアセンターが実施しているシリーズ（全7回）で、今後も大手企業や官公署のトップを招き、今後の人生の指針となるような貴重な講演をしていただく予定です。

このようなキャリアセンター等の取り組みにより、本年度の就職内定率は大幅に向上しました。（前年比+19.6ポイント）※平成18年10月末現在

北九大の格付け評価は 『A A』 11/8

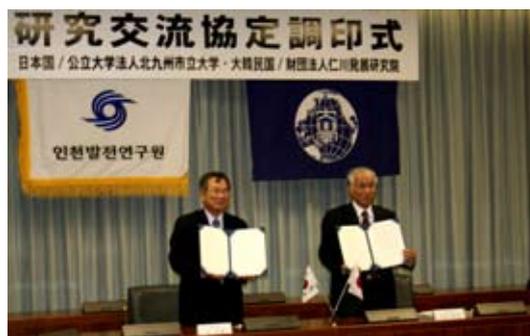
株式会社日本格付研究所（JCR）は、公立大学法人北九州市立大学の長期優先債務の格付を『A A』（ダブルAフラット）に新規格付けしました。格付の見通しは「安定的」です。

長期優先債務格付けとは、債務者の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。格付けは、大学の自主財源獲得力の評価をベースとし、設置団体である自治体等による支援度の評価と自治体自身の財政力の3つの視点をもって総合的に判断されています。

国公立大学の格付公表は、東京大学に次いで2番目となります。

仁川発展研究院と研究交流協定を締結

11/9



11月9日（木）、本学は仁川発展研究院と研究交流協定を締結しました。同研究院は、北九州市の姉妹都市である韓国・仁川広域市のシンクタンクで、幅広い分野の優秀な研究者を多数抱える、高度な政策提言能力を持った組織です。

古くから交通の要衝であった両市は、共に重工業を中心に発達し、近年では空港や港湾などの整備に力を注ぐなど、都市としての類似性が高いと言えます。そのため、両市が抱える政策的課題にも多くの共通点があり、協定締結を契機として、それらの解決に向けた比較研究など、双方による活発な研究が進められることが期待されます。

今後は、都市政策研究所が窓口となり、全学的な体制のもとで、共同研究はもとより、情報交換や研究者間の交流なども積極的に行っていきたいと考えています。

「守るんジャー」結成式行われる

9/16



ボランティアグループ「福岡子ども守り隊 ～守るんジャー～」の結成式が、9月16日（土）に本学多目的ホールで行われました。

これは、昨今の下校中の児童が犯罪の犠牲になるという痛ましい事件が全国各地で相次ぐ中、学生としてこの地域で何かできることはないのかと考え、北九大の教員志望の学生が中心となって結成したものです。主な活動は、北方小学校児童の下校時に通学路に立ち、児童の安全を見守ること、挨拶などの声かけをすることなどです。

この「守るんジャー」という組織は、高知大学の学生有志の発案で活動が始まり、現在は全国的な広がりを見せています。

この活動を通じて、「一人でも多くの子どもたちが笑顔で安心して通学できるようになること」を願っており、近い将来、大学と地域を結ぶ架け橋となる活動になればと考えています。

同窓会・後援会の総会等開催



本学同窓会、後援会の総会・懇親会等が以下のとおり開催されました。本学からも法人役員等が参加し、日頃の大学運営への協力の感謝の気持ちを伝えるとともに、大学の近況報告や目指す目標などのPRを行いました。

- 10/29 同窓会総会 理事長、学長（八幡ロイヤルホテル）
- 11/ 4 後援会総会 理事長、事務局長、晴山副学長
（本館A -101）
- 11/12 同窓会関西支部 総会・懇談会 晴山副学長
（大阪ワシントンホテルプラザ）

公立大学協会セミナーで学長等が講演



公立大学協会の主催する以下のセミナー等で矢田学長が講演を行いました。また、本年度は、公立大学協会九州・沖縄地区協議会議長として、9/28に本学で同協議会を主催しました。

<主な講演>

- 9/27 公立大学法人化セミナー
講演「公立大学法人組織の管理運営」
講師 矢田学長
パネルディスカッション「法人化の諸課題とマネジメント」
パネリスト 矢田学長
- 10/19 公立大学経営セミナー
講演「公立大学の経営」 講師 矢田学長
講演「公立大学の経営概論Ⅰ」
講師 永津経営企画担当局長
- 10/27 公立大学事務局長連絡協議会
基調講演「公立大学の人事制度に関する学長アンケート結果（中間）と北九州市立大学の人事制度」
講師 矢田学長（公大協人事制度専門委員会委員長）
- 11/6 公立大学協会学長会議
基調講演「公立大学の改革とリーダーシップ」
講師 矢田学長

学長記者会見

11/8



11月8日（水）午後2時より、北九州市役所4階記者会見室で、矢田学長が記者会見を行いました。今年度初めて開催される記者会見で、北九州市立大学における様々な改革内容等について、学長自らが記者会見しました。今回の会見は、これまで・これからの北九州市立大学の改革の内容を冒頭に総括的に説明し、平成19年4月の学部学科等の再編、ビジネススクール・プレイベントの開催、(株)日本格付研究所による格付審査結果の公表、仁川発展研究院との研究交流協定の締結及び必修科目未履修者の取扱いについて、1時間にわたり行われました。

出席した市政記者クラブの記者からは、学部学科等の再編に関連し、平成18年度に開設した基盤教育センターや全国的にも問題となっている必修科目未履修などに関する質問が出されました。

今後学長記者会見を積極的に開催し、大学の動きを大学を支えてくださる地域の皆様に広報していきたいと考えています。

北九州市地方独立行政法人評価委員会
評価「計画通り」

8/21

北九州市地方独立行政法人評価委員会（委員長・石田重森氏）は、8月21日、平成17年度の業務評価結果を公表しました。中期計画193項目についての平成17年度の計画が審査され、「独立行政法人化の初年度としては、中期計画に基づく年度計画を積極的かつ着実に取り組んでおり、中期目標達成に向けた大学運営が順調に実施されている」との評価を受けました。

この評価は、地方独立行政法人法に基づき実施されるものであり、毎年度実施が義務付けられているものです。

評価対象は、「教育研究の質の向上」や「業務運営の改善及び効率化」、「財務内容の改善」などの5分野。

高校進路指導担当教員との意見交換会

10/11

主要な高校とネットワークを築くとともに高校の教育現場からの意見や要望をお聴きし、本学の教育や入試の改善等に生かしていくため、毎年7月に開催する進路指導担当者懇談会とは別に、今年度初めての試みとして、10月11日（水）、志願者数・合格者数上位12校（小倉、小倉西、小倉南、戸畑、八幡、北筑、八幡南、九州国際大学付属、宗像、香住丘、新宮、京都）の進路指導担当者を本学に招き、学長をはじめ各学部長等と意見交換会を実施しました。

今後このような意見交換会等を開催し、高校との連携を深め、学生の教育に取り組んでいくこととしています。



会議等

役員会

第111回 10月17日(火)

[議案]

- ① 北九州市立大学授業料・入学金に関する改定について

[報告]

- ① 北九州市立大学の改革と経営について
- ② 学部学科再編について
- ③ ビジネススクールの設置状況について
- ④ 学生の活動やキャリア支援について
- ⑤ 新図書館構想について
- ⑥ 地方独立行政法人評価委員会評価結果について
- ⑦ 広報活動報告について

経営審議会

第8回 10月17日(火)

[議案]

- ① 北九州市立大学授業料・入学金に関する改定について

[報告]

- ① 北九州市立大学の改革と経営について
- ② 学部学科再編について
- ③ ビジネススクールの設置状況について
- ④ 学生の活動やキャリア支援について
- ⑤ 新図書館構想について
- ⑥ 地方独立行政法人評価委員会評価結果について
- ⑦ 広報活動報告について

教育研究審議会

第36回 8月8日(火)

[議案]

- ① 教員の採用について
- ② 教員の学部・基盤教育センター間の異動について
- ③ 学部学科等再編について
- ④ 英米学科のカリキュラムについて

[報告]

- ① ガイダンス IN 鹿児島の実施結果について
- ② サマースクールの開催について
- ③ 春期公開講座の実施結果について
- ④ 公立大学協会での講演等について

第37回 9月12日(火)

[議案]

- ① 新図書館建設委員会の設置について
- ② 教員の採用・退職について
- ③ 教員の再任用について
- ④ 教員の学部・基盤教育センター間の異動について
- ⑤ 学部学科等再編について
- ⑥ 学部学科等再編小委員会の委員構成について
- ⑦ 学友会交渉申し入れ書に対する回答について
- ⑧ 教員手当の見直しについて
- ⑨ 教員組織のあり方について

[報告]

- ① 施設整備検討委員会最終報告について
- ② カリキュラム編成方針の検証について
- ③ スポーツフェスタの開催について
- ④ 地方独立行政法人評価委員会の評価結果について
- ⑤ サマースクールの実施報告について
- ⑥ 進路指導担当者との意見交換会について
- ⑦ 秋期公開講座の実施について
- ⑧ 北方サロンの実施について
- ⑨ 教員の海外出張について
- ⑩ 服務規律の遵守について

第38回 10月3日(火)

[議案]

- ① 教員の採用について
- ② 北九州市立大学と仁川発展研究院との研究交流協定の締結について
- ③ 自然災害等における休講の取扱いについて
- ④ 教員手当の見直しについて
- ⑤ 学友会交渉申し入れ書に対する回答について

[報告]

- ① 自然災害発生時における防災体制について
- ② 留学生の資格外活動について
- ③ 平成18年度4大学スクラム講座の実施について

第39回 10月24日(火)

[議案]

- ① 教員の退職について
- ② 大学院規程等の改正について

[報告]

- ① 授業料等の改定について
- ② 科学研究費について
- ③ 「奨学寄付金」の寄付申し出について
- ④ 平成18年度夏季公開講座アンケート集計結果について
- ⑤ 教員の海外出張について

第40回 11月7日(火)

[議案]

- ① 教員の採用について
- ② 教員手当について

[報告]

- ① ビジネススクール・イベントの実施について
- ② 高校の必修科目履修不足問題について
- ③ 広報活動報告について
- ④ シラバスの電子化及び大学ホームページ掲載内容について
- ⑤ スポーツフェスタ、青嵐祭の開催結果について
- ⑥ キャリア支援の取組みについて

平成19年4月

北九大ビジネススクール開設 [認可申請中]

北九州市立大学 大学院 マネジメント研究科 (専門職大学院)



働きながら北九州でMBAを取得!

～主に社会人を対象に、優れた経営感覚を備え、組織改革や革新的な事業創造を担える人材を養成します。～

概要 (予定)

- 学生定員 1学年 30人
- 修業年限 2年 (最長4年までの長期履修制度有り)
- 終了単位 44単位
- 学位 経営学修士 (専門職)
MBA(Master of Business Administration)
- 開講時期 1学期: 4月～8月 2学期: 10月～2月
- 教員体制 総数45名 (内専任教員14名)

このような人材を求めます

- 学問体系に裏付けられた実践的なマネジメントを学びたい社会人
- 経営者を目指している社会人
- ブレイクスルーを見出したい経営者
- 民間の経営センスを身につけたい非営利組織のスタッフ (例: 公務員、医療・福祉法人やNPO法人等のスタッフ)
- 中国ビジネスや中国経済に精通したい社会人
- 環境分野でフロンティアを切り開きたい人

平日夜間と土曜日に開講

- 平日夜間は、小倉駅近接の「小倉サテライトキャンパス (AIM)」
- 土曜日は、小倉駅からモノレールで10分の「北方キャンパス」

このような人材を養成します

- 優れた経営感覚と経営手法を身につけたリーダー
- 自らのビジネスアイデアを実現できる起業家
- 組織改革や新事業開発を担えるリーダー
- 卓越した民間のマネジメント手法を駆使するパブリック・リーダー

平成19年度募集予定 …… ①社会人、②進学者 合わせて30名 (うち、②は若干名)

募集要項配布	平成18年12月上旬～	
	第1回選抜 (予定)	第2回選抜 (予定)
出願期間	平成19年1月19日 (金)～26日 (金)	平成19年2月9日 (金)～16日 (金)
1次選考結果通知	平成19年2月8日 (木)	平成19年3月1日 (木)
2次選考結果通知	平成19年2月17日 (土)	平成19年3月11日 (日)
合格発表日	平成19年3月9日 (金)	平成19年3月21日 (水)

北九大ビジネススクール・プレイベントの開催



第1回ビジネススクール説明会

参加費無料・定員80名

(応募者多数の場合は抽選)

日時: 平成18年12月15日 (金)

18:30～20:45

場所: アジア太平洋インポートマート (AIM) ビル3階
(西日本総合展示場新館中展示場会議室)

○お申込み○

Eメール又ははがきに「BS イベント申込み」と記載し、住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレスをご記入の上、平成18年12月8日 (金) までに下記へお申込みください。

(プログラム)

- ・パネルディスカッション「創造と変革のMBA～地域でつくる北九大ビジネススクール」
 - ・入試要項の説明
 - ・模擬授業「技術マーケティング戦略」「ファイナンス」
 - ・個別相談会
- 入試その他の相談を個別に受け付けます



第2回は平成19年1月17日 (水)～19日 (金) の予定

参加費無料・定員各36名

(応募者多数の場合は抽選)

お問合せ先・・・

北九州市立大学 経営企画課「BS係」

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1 TEL093-964-4195 E-mail k2bs@kitakyu-u.ac.jp



北方サロン

毎月第3水曜日に本館7階ラウンジで研究交流会「北方サロン」を開催しています。

第5回(9/20)は経済学部城戸宏史先生、キャリアセンターの真鍋和博先生、第6回(10/18)は交換教員の張曉華先生、社会システム研究科の井原健雄先生、第7回(11/15)は文学部の税田慶昭先生、

招聘教員の中溝幸夫先生に話題提供いただき、研究内容や趣味の話までユーモアを交えて楽しくお話されました。

会場とのディスカッションでは毎回活発な意見交換が交わされ、またサロン会場に設置してある本棚には、本学の先生方の著書が徐々に集まっています。

今後とも多くの先生方のご参加をお待ちしております。是非一度ご参加ください。

次回(第8回)は12月20日(水)

16:00からです。



公開講座

夏期の公開講座は「ことばのしくみ-明日から使える英語のあれこれ」、「アメリカのミュージカル、ミュージカルのアメリカ」、「お金のはなし-MBAアプローチ」の3講座が開講され、多くの市民の方に参加いただきました。

秋期は「英米文学のふるさとII」(定員100名)、「北九州の近代化遺産」(定員50名)の2講座が現在開講中で、両講座共に定員を超える多くの方が参加されています。

学術情報総合センターSEルーム (本館6F)

西村 裕



SEルームの仕事といえば、プリンターの紙詰まりなどの身近なトラブル対応から、皆さんが利用している学内のインターネットを含めた様々なネットワークの管理まで、どちらかと言えば縁の下力持ちとしての仕事です。皆さんが、毎日、ネットワークを安全・円滑に利用できるようSEルームでは、自称気の優しい総勢6人の若手(?)SEが、日々頑張っております。



それと皆さん、最近世の中物騒になっています。自分のパスワードは定期的に変更し、変更したパスワードはお忘れにならないように!!

北九州市立大学生協同組合

専務理事 尻枝 太

北九州市立大学生協は、大学より福利厚生事業の委託を受け、教科書や参考書等の書籍、TOEIC試験や学内講座、文具の供給など学びの事業、食堂や弁当・食品供給などフードサービス事業、海外語学研修や自動車学校のサービス事業、助け合いの共済事業などおこなっています。また、学生委員会が取り組む新入生歓迎の行事や健康相談企画、弁当容器の回収リサイクルなど活動が大学の元気に貢献していると自負しています。



生協は、学生、院生、教職員の組合員ひとりひとりの出資で運営されています。ご意見やご要望をお寄せ下さい。「生協の白石さん」は、北九大生協にも居りますよ。



お知らせ

人事

<退職>

- 8/31 付 尾崎 明仁 (国際環境工学部助教授)
- 9/30 付 三輪 俊和 (経済学部教授)

<採用>

- 10/1 付 友原 章典 (経済学部助教授)

<叙位叙勲>

- 11/3 付 瑞宝中綬章 加藤 宗幸 名誉教授

行事予定

- 12/23 ~ 1/8 冬季休業期間
- 12/24 ~ 28 集中講義期間
- 2007
- 1/20 ~ 21 大学入試センター試験
- 1/28 ~ 2/1 補講期間
- 2/ 5 ~ 17 第2学期末試験
- 2/11 外国人留学生特別選抜試験
- 2/25 ~ 26 一般選抜試験(前期)
- 3/12 一般選抜試験(後期)
- 3/24 学位授与式

保健室からのお知らせ

さわやかな秋風の中で青年の歓声と情熱に溢れた、スポーツフェスタや青嵐祭が終わりました。保健室は、スポーツフェスタで体力測定を仮装大会に取り入れ大いに盛り上がりました。青嵐祭では、救護班の事前研修やパッチテストの効き目か(?)アルコール等の急患もひとりも無く喜んでいきます。今年の健康診断受診者は教職員245人(受診率88.1%)、学生4226人(受診率76.4%)。今回、学生に始めて結果表配布し、取りに来た方は1936人(配布率45.8%)。健診は自身の健康を知るバロメーターです、全員受診目標でお願いします。又12月14・15日骨粗鬆症検診をします。粗は「あらい」、鬆は「まばら」を表します。骨がスカスカになってもろく折れやすくなる前に早く自分の骨量を知って予防しましょう。予約は早い者勝ち、お待ちしております。

入試広報
REPORT

北九州市立大学 平成19年度入試等について

北九州市立大学では、高校生、保護者あるいは高校の先生を対象とした広報として様々な取組みを行っております。今年度8月から10月までの実績をご紹介します。

必履修科目未履修者の取扱い

高等学校において、高等学校学習指導要領の規定により、すべての生徒に履修させる各科目(以下「必履修科目」という。)を生徒に履修させないなど、学習指導要領に反する事例が判明し、高等学校卒業認定が困難な事態となりました。

これに対し本学は、文部科学省の通知に従い、次のような対応を取ることとしました。

【基本姿勢】

未履修は当該学生の責めに帰すべき事由により生じたわけではないので、当該学生に不利益にならないように対応します。

【推薦入学試験(現役生)への対応】

文部科学省の通知に沿って作成された調査書であることを確認し、出願を受け付ける。疑義が生じた調査書については、高等学校へ問い合わせを行い対応する。

【浪人生への対応】

既に高等学校を卒業した者については、卒業認定を取り消されないため、提出された調査書で出願を受け付ける。

【在学生への対応】

既に高等学校を卒業した者については、卒業認定を取り消されないため、特に措置を講じない。

サマースクール2006

平成18年8月22日から31日にかけて、高大連携プログラム～サマースクール2006～を開催しました。今年度は本学を代表する教員が16講座開講し、17高校から270名もの参加をいただきました。

参加した高校生たちは、はじめてのゼミナール(演習)形式の講義に戸惑いながらも積極的に議論などを経験し、今後の進学意識の向上につながったなどの声を受講生から寄せられました。

経済学部松本助教の講義の様子



入試等のスケジュール

一般選抜試験の募集要項の配布を開始しました。大学事務局経営企画課 (Tel 093-964-4195) までお問い合わせ下さい。

選抜名称	出願期間	試験日	実施学部	合格発表	入学手続期間
一般選抜 前期日程	平成19年1月29日(月) ～ 平成19年2月6日(火)	平成19年2月25日(日)	外国語学部 文学部 国際環境工学部	平成19年3月9日(金)	平成19年3月10日(土) ～ 平成19年3月15日(木)
		平成19年2月26日(月)	経済学部 法学部		
一般選抜 後期日程		平成19年3月12日(月)	外国語学部 経済学部 文学部 法学部 国際環境工学部	平成19年3月21日(水)	平成19年3月22日(木) ～ 平成19年3月27日(火)
推薦入学	平成18年11月1日(水) ～	平成18年11月26日(日)	外国語学部 経済学部 文学部 法学部 国際環境工学部	平成18年12月9日(土)	平成18年12月20日(水) ～ 平成18年12月26日(火)
社会人 特別選抜	平成18年11月8日(水)				

◎出張講義、高校訪問、大学訪問についてのお問い合わせは、大学事務局経営企画課 (Tel 093-964-4195) までお願いします。

